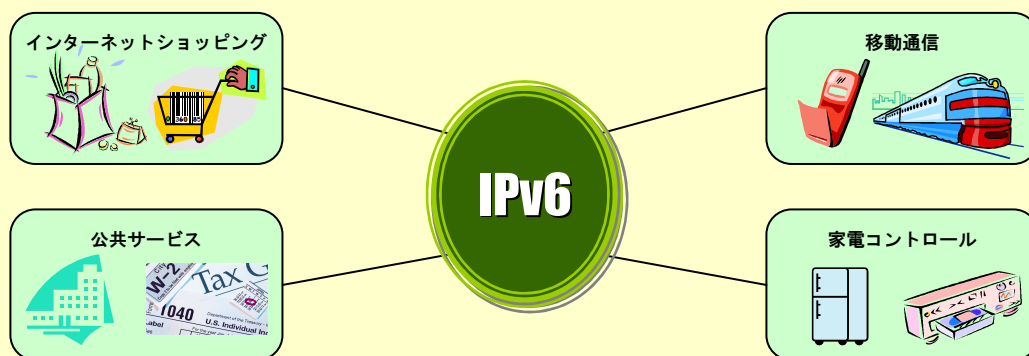


インターネットが変わります

インターネットは、すでに水や電気などと同じように、私たちの生活に欠かせないものとなっています。情報収集やコミュニケーションの手段として利用するだけでなく、物の購入や税金の支払い、振り込みなども、外出することなくインターネットを利用して行うことができます。高齢化が進んでいる中で、在宅サービスの重要性は高まっており、サービス利用の手段となるインターネットはもはや欠かすことができません。このような社会情勢の中で、インターネットを誰でも簡単便利に、どこでも利用できるようにすることはとても重要です。

現在インターネットではIPv4（※1）と呼ばれる技術が使われていますが、インターネットの爆発的な普及により、接続に必要な“IPアドレス”の数が枯渇しようとしています。また他にもさまざまな問題が発生しています。そこで、今までの問題点を改善し、新たな機能を追加したIPv6（※2）が開発されました。IPv6は豊かな社会を実現する、新世代のネットワーク基盤技術になると考えられており現在、多くのIPv6を利用した機器やサービスが世の中に登場し始めています。広島地域でも、すでにIPv6を利用することができます。

今後IPv6が急速に普及したとしても、現在のIPv4はそのまま利用することができます。IPv4とIPv6は共存する技術なのです。インターネットは変わりません。



Change

IPv6で変わります！

- IPv4で足りなくなっている“IPアドレス数”が、IPv6では爆発的に増えます
- インターネットに接続するための設定が自動で行なわれます
- 通信の暗号化を行なうことができます
- 多地点への通信が簡単に行なえます

No Change

IPv6でも変わりません！

- IPv4とIPv6は共存します
- インターネットの利用者はIPv6を意識する必要がありません
- Webやメール、チャットなどを今までどおり利用できます
- 新たな知識や準備は必要はありません

※1 IPv4（インターネット プロトコル バージョン 4、アイビーブイヨン、アイビーブイフォー）

現行のインターネットで利用されている通信規格。開発から既に数十年が経っており、アドレス資源の枯渇等、さまざまな問題を抱えている。

※2 IPv6（インターネット プロトコル バージョン 6、アイビーブイロク、アイビーブイシックス）

IPv4をベースとして、IPv4の問題点を解消し新たな機能を追加するために開発された次世代インターネットプロトコル。アドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加等が行なわれている。

広島地域IPv6推進委員会の活動

広島地域IPv6推進委員会はIPv6の技術的課題を検討するとともに、広島地域においてIPv4からIPv6への移行が確実かつ円滑に行えることを実証し、IPv6の導入及び普及を推進することを目的としています。産官学により2005年7月に設立されました。昨年度は、学校間映像配信実証実験や地域コンテンツ配信実証実験等を通じて、IPv6の普及推進を進めてまいりました。今年度は以下の活動目標を掲げ、昨年度よりも一層普及推進を進めていきたいと考えています。

なお、2006年6月1日に電波の日・情報通信月間記念式典が開催され、広島地域IPv6推進委員会の活動に対し、中国総合通信局長から表彰されました。



学校間映像配信実証実験の様子
(広島市立白島小学校)



市民グループとの協業による
地域コンテンツ映像編集の様子



学校間映像配信実証実験の様子
(広島大学附属東雲小学校)



電波の日・情報通信月間記念式典
表彰の様子

今後の活動目標

●IPv6をより多くの人々に知ってもらう

昨年度は学校のフィールドで実施する実証実験やコンテンツ作成作業等を通じて、IPv6の普及促進を行なってまいりました。今年度は実験だけでなく、より積極的な広報活動を行ないます。そしてIPv6を用いたWeb閲覧など、IPv6サービスの利用者となる一般市民だけでなく、IPv6の回線提供や製品開発など、IPv6サービスの提供者となる企業や開発者を対象とした普及促進を進めてまいります。具体的には、IPv6普及促進のための資料作成・配布や、展示会への出展、セミナー開催などを行ないます。

●IPv6を実際に利用してもらう

IPv6普及のためには、現在IPv4インターネットを利用している一般の人々に実際に利用していただくことが重要だと考えます。実際に利用いただく中で、IPv6ならではの機能も実感頂くことが必要ですが、IPv4と変わることなくIPv6も同じようにインターネットが利用できることを実感いただくことも必要です。具体的には、一般的なパソコンでも簡単にIPv6ネットワークに接続できる仕組みを提供し、誰でも簡単にIPv6を利用できる環境を整備します。